

津市立白山中学校 第3学年 社会科

1. 教科の目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2. 使用教材

歴史的分野教科書(東京書籍) ビジュアル歴史(とうほう) 歴史用語ハンドブック(新学社) Wプリント(新学社)

公民的分野教科書(東京書籍) 公民用語ハンドブック(新学社) Wプリント(新学社)

【3観点】

- ①知識・技能
- ②思考・判断・表現
- ③主体的に学習に取り組む態度

3. 学習の進め方

学習内容と評価のポイント(3年生)

学期	単元名・学習内容	学期別学習到達目標	観点別評価方法
1	<p>(歴史)</p> <p>第6章二度の世界大戦と日本 ①第一次世界大戦と日本 ②大正デモクラシーの時代 ③世界恐慌と日本の中国侵略 ④第二次世界大戦と日本 第7章現代の日本と私たち ①戦後日本の出発 ②冷戦と日本の発展 ③新たな時代の日本と世界 ①平和と民主化への動き ②国際化する世界と日本</p> <p>(公民)</p> <p>第1章現代社会と私たち ①現代社会の特色と私たち ②私たちの生活と文化 ③現代社会の見方や考え方</p>	<p>・第一次世界大戦前後の国際情勢、第二次世界大戦と人類への惨禍について、社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・戦時下の国民生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解する。 ・第二次世界大戦後の日本の民主化と再建、国際社会への復帰について、世界の動きと関連させながら理解する。 ・戦後の諸改革や国際社会の変化、経済成長や国民生活の変化を相互に関連付けながら、現代の日本や世界の特徴を考察し、表現する。</p> <p>・公民的分野への関心を高め、これ以降の公民学習につなげることができる。 ・様々な資料から、現代社会の特色、現代社会における文化の意義や影響について読み取り、適切に表現する。</p>	<p>●定期テスト【①②】 ●単元確認プリント【①②】 ●授業レポート プリント【②③】 上記は1・2・3学期共通</p> <p>①表やグラフなどを用いて、客観的な統計から、当時の情勢を読み取る。 ①民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解する。 ①日本国憲法などを制定し民主化政策を進め、冷戦の中、国際社会の復帰を果たしたことを基に理解する。 ①民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解する。 ②各国の動きについて、公正に判断し、自分の意見を述べる。 ②戦前・戦後の日本の歩みについて、国内外の様子など様々な事象を関連付けながら、多面的・多角的に考察し、表現する。 ②社会生活における物事の決定の仕方や決まりの意義について、身近な生活と関連付けて捉えたり、対立と合意、効率と公正の見方・考え方に基づいてまとめ、発表する。 ③現代社会を捉える見方・考え方について、具体的な事例を基にした活動に意欲的に取り組み、これ以降の公民的分野の学習に対する関心を深めることができる。</p>
2	<p>第2章個人の尊重と日本国憲法 ①人権と日本国憲法 ②人権と共生社会 ③これからの人権保障 第3章現代の民主政治と社会 ①現代の民主政治 ②国の政治の仕組み ③地方自治と私たち 第4章私たちの暮らしと経済 ①消費生活と市場経済 ②生産と労働 ③市場経済の仕組みと金融 ④財政と国民の福祉 ⑤これからの経済と社会</p>	<p>・民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解する。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解する。 ・選挙をはじめとする国民の政治参加によって、より良い民主政治が運営されることに気付き、主権者としての政治参加の在り方について考える。 ・議会制民主主義の意義や、国会を中心とする国政のありまし、地方自治の考え方について理解する。 ・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解する。 ・国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。 ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解する。</p>	<p>①国や地方公共団体の政治に関する資料を様々な方法をもとに、政治や社会の現状や課題についての確に読み取ったり、文章や図表などにまとめる。 ①現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解する。 ①社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解する。 ②選挙や裁判、地方自治などに関する多様な活動を通して、自分の意見を根拠を挙げながら分かりやすく説明する。 ②財政及び租税の役割について、現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察、構想したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明する。 ③人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。 ③国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、学習に意欲的に取り組んでいる。 ③市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、主体的に社会に関わろうとする。</p>
3	<p>第5章地球社会と私たち ①国際社会の仕組み ②さまざまな国際問題 ③これからの地球社会と日本</p> <p>3年間まとめと復習 (高校入試に向けて)</p>	<p>・国際社会の現状や諸課題について、様々な資料を基に分析し、公正に判断し、適切に表現する。 ・国際社会の現状や諸課題、国際機関の活動に関する様々な資料を的確に読み取る。 ・国際社会における国家や国際機構、SDGsの目指すものや、NGOの役割、それらが国際社会の諸課題を解決するために行っている取り組みについて理解する。</p>	<p>①世界平和の実現と人類の福祉の増大の観点から、国家相互の主権の尊重と協調、各国の相互理解と協力の重要性について理解する。 ②国や地方公共団体が果たす役割や、財政及び租税の役割について、現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察、構想したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明する。 ・様々な資料や写真などの読み取りを通して国際社会が抱える諸課題を見だし、多面的・多角的に考察するとともに、それらを解決する方法について、持続可能な社会の観点から的確に表現する。 ③国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、主体的に社会に関わろうとする。 ③国際社会の抱える諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に追究し、より良い地球社会を築くための解決策について考え続けることができる。</p>